



WORK'S (共同作業所)

〒601-8036

京都市南区東九条松田町62

TEL.075-682-3201 FAX.075-682-3330

ホームページアドレス

<http://www.mediawars.jp/~saba/>

Eメールアドレス saba@mediawars.ne.jp

第30号 編集責任者 大崎 雅彦

第1版 2005・11・30発行

営業部より (テープ起こし作業の苦勞等)

テープ起こし作業顛末記

最近、本格的なテープ起こしの仕事をした。

テープ起こしとは、講演会や会議等を録音した音源を文章に変換する作業の事である。

今までにも短い作業は体験したことがある。

今回は90分のテープ起こしに挑戦した。テープの通りに文書にすると、喋り言葉なので読みにくかったり、意味が通らなくなったりする時がある。

そこで文書として読みやすいようにしなくてはならない。それがとっても難しいのである。講演者の言っている内容を損なわないように、読んだ人に分るようなものにしなくてはならない。何度もテープを繰り返し聴き、文書を修正しなくてはならなかった。作文よりも難しく感じた。

作業が終わるまで二ヶ月もかかってしまったが、とっても良い文書の勉強になった。

所員 八木俊幸



販売しました。

スーパーボール等の当て物も人気でした。

所員 八木俊幸



今年（2005年8月25日~27日）まで岡山の吉備リハセンで、一緒だった出雲の友人の所へ遊びに行った。ついでに、家庭の事情で去年の暮れからお母さんの里の島根県へ引っ越して行った、奥君の顔を見に行ってきた。友人の自動車には「カーナビ」がついていたので、住所を入れて色んな人に聞きながら家の近くまではどう

にか行けた。

それからが大変だった、奥君のお母さんの実家の名前がわからない、集会所の前に車を止めて、事情を話しながら、訪ね歩いた。見つかるには見つかったが、奥君自身は共同作業所へ行っていて、留守だった。

奥君のお祖母（ばあ）さんにも会った。奥君のお母さんが弟さんに電話をし、弟さんの案内で奥君の仕事をしている作業所まで案内してもらった。そこは約30台程のパソコンが並んでいた。割と広いスペースがとってあった。

ただ気がかりだったのは、奥君が私に「中嶋さん、いつ帰るの。」と聴いてきた私が「明日帰るわ」と言った時、奥君の顔に寂しそうで憂いを含んだ表情が過（よ）ぎったのが、印象に残っている。

ワークスにいる時にはみんなの真ん中にいて時には「駄洒落や冗談」をとぼしていたのに借りてきた猫みたいに静かだったのも気になった。30台ぐらい並んでいるパソコンの一番端に橙（だいだい）色のトラックボールがポツンとおいてあったのが尚一層、寂しさを際立たせていた様だと、感じたのが私だけの思い過ごしだったのならいいのだが・・・。



中嶋秀人

私は34年間施設暮らしを余儀なくされた。その中で働くことは私の中で一人暮らしをしたらぜったい働こうと思っていた。私が12歳のとき親に陶芸家になりたいと言ったら、おまえはアホかと言われた。今から思えば12歳で将来の設計を考えていたことは、すごいことだ。それから2年ぐらい陶芸の勉強をやった。今でも焼き物を見るだけで何の土からできているのか分かる。けど、今の障害の度合いでは陶芸は無理と思った。でもずっとこのままでいくんだったら働くことも考えていかんとあかんと思った。ただ、このままでは私の気持ちはまいてしまうし、若いころらしくもやもやとしてた。14歳のときにある先生が私にタイプライターをすすめてくれた。はじめてこの手で字が打てた。手を脇にくっつけて、まるでミイラのようにぐるぐる巻きにしてタイプライターをやった。親はやめろと言ったけど、私の考えはいくらかっこ悪くても自分でやれたらいいやんかと言った。私にとって働くことはとても難しいことだった。ああ、そうそう、18歳のときに親にだまって広島の特産所に行って、はじめは見学のつもりで行ったのだけど、ものすごくよかったので面接を受けたら受かって、親に言ったら、また怒られて、アホと言われた。そこで一個、なんで私が怒られなあかんのか疑問だった。ついに私が親を連れて広島まで見学に行ってもらい、やっと納得してくれた。ところが、面接の返事が来たら、親の返事が変わって、やっぱりあかんと言った。私はどうしても働きたかったし、ご飯を一週間食べなかった。やっぱり食べなかったら力が出ないということが分かって、これではあかんと思った。障害がなかったら今ごろは働けたのに、と思った。私は叩いても叩いてもアスファルトから出てくる草のように私が納得いくまであきらめないといこのごろ思うようになった。



とにかく人間はあきらめたらそこで終わりだから、障害者の中には働けない人はしょうがないとして、働く気がある人は少しでも就労を考えてもらいたい。私は今ワークス共同作業所で働き、また日本自立生活センターでいろんな運動に関わっている。私の基盤は働いて少しでも社会の役に立ちたいということだ。私はまだまだ未熟者ですが、忍耐だけはあるので、これからも長い目で見てほしい。私は本当に一人暮らしをして気持ちが楽になったし、他の障

害者もどんどん社会参加をしてもらいたいと思う。

私がこの世の中に生を受けてよかったのは、今のように働けるようになったことだ。働くことをいろんな方向から考えてみた結果、いろんな形があると思う。まずは金銭のことや、食べることや、家庭を持つことや、他にも様々なことが働くことにつながる。そのことを15歳のときに考えた。15歳まではぼんやりとしていた。私はわからないけれど、知らぬ間に考えていた。私が生きていくために

一人暮らしをした限りは働くことがとても大事だと思うけど、障害者の就労はまだまだ一般の企業では無いに等しい。障害者という方々が働いていますと言うたら授産所とかを世間一般では働く場だと思われがちと思っているが、各々考え方で授産所で働くことがいいと思ったら授産所に残って働く人もいる。まだまだ世間の考え方は未熟だと私は一人暮らしをしてからつくづく思う。日本は欧米に比べたら進んでないけど、なんとかして私達の時代に欧米に近づけたらいいと思う。



はっぴい・まんもす

カンパの報告

ワークス共同作業所移設のためのカンパ活動にご協力いただきました。
ありがとうございました！

奥匡秀様
清水幸雄様
岸本幸子様
今福義明様
ラクナン金属様
増田千代子様
個人会計 77,000円

4月1日～10月31日
総合計 312,000円
(10月31日現在)



ワークスの出来事

- 6月 2日 (木) ゆめハウスの開所式に出席
- 7月 28日 (木) ・ビアガーデン大会(新都ホテル)
- 8月 11日 (木) ～8月 17日 (水) ワークス夏期休暇
- 8月 25日 (木) 簿記講座 3
- 9月 1日 (木) 簿記講座 4
- 9月 14日 (水) 京都府障害者ITサポートネットワーク会議に参加
- 9月 18日 (日) てんとう虫マラソンに参加
- 9月 23日 (金祝) 24日(土) 京都市身体障害者福祉総合展にブース参加
- 10月 7日 (金) 街づくり街頭啓発活動に参加
- 10月 24日 (月) 第17回南区社会福祉大会
- 10月 31日 (月) 第2回「ITサポートネットワーク会議」
- 11月 3日 (祝) 東九条マダンに出店
- 11月 15日 (火) 京丹後市のパソコン初級講座開催

年末年始営業のお知らせ

2005年12月29日（木）～2006年1月6日（木）からです。



編集後記

十月に障害者法が決まりました。
これからどうなるか？

G・T

